



## 平成27年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年3月17日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 大和 竜一 TEL 043-350-1266  
 四半期報告書提出予定日 平成27年3月31日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第3四半期の業績（平成26年5月16日～平成27年2月15日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第3四半期	14,322	5.1	844	8.5	871	8.8	508	25.7
26年5月期第3四半期	13,630	2.7	778	10.7	801	11.3	404	△1.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第3四半期	175.16	—
26年5月期第3四半期	139.34	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第3四半期	9,307	5,781	62.1	1,991.32
26年5月期	8,339	5,351	64.2	1,843.14

(参考) 自己資本 27年5月期第3四半期 5,781百万円 26年5月期 5,351百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
27年5月期	—	0.00	—		
27年5月期（予想）				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年5月期の業績予想（平成26年5月16日～平成27年5月15日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,976	3.4	1,070	△5.7	1,103	△5.3	584	△3.6	201.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年5月期3Q	2,903,600株	26年5月期	2,903,600株
② 期末自己株式数	27年5月期3Q	326株	26年5月期	326株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年5月期3Q	2,903,274株	26年5月期3Q	2,903,302株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や金融政策の効果もあり、輸出企業の業績および雇用情勢の改善などを背景として穏やかな回復基調となったものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や、個人消費の減退とその後の回復の遅れが、予想以上の景気下振れ要因となっております。

外食産業におきましては、消費税率引き上げ後の個人消費低迷の長期化、夏場の記録的な天候不順、円安に伴う原材料価格の上昇など、厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、良質な商品の提供と店舗サービス及び清潔感向上に専念し、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

当第3四半期累計期間において、グルメ回転寿司業態以外の江戸前の「立ち寿司」事業を取り込み、事業の多角化とあわせて、江戸前寿司の「品質」と「技」により、「すし銚子丸」ブランドのさらなる向上を目的として、『江戸前すし百萬石』新小岩店(平成26年11月)と同幸町店(平成26年12月)2店舗を事業譲受しました。この結果、当第3四半期累計期間末の店舗数は86店舗となっております。

販売促進につきましては、希少価値の高い「天然インドまぐろ」のセットメニューをはじめ、銚子丸らしい商品の拡充と時節の食材によるイベントの継続的開催を実施し、お客様の来店動機高揚に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は143億22百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は8億44百万円(同8.5%増)、経常利益8億71百万円(同8.8%増)、四半期純利益は5億8百万円(同25.7%増)となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ9億67百万円増加し、93億7百万円(前事業年度末比11.6%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ8億37百万円増加し、62億76百万円(同15.4%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加6億85百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億30百万円増加し、30億31百万円(同4.5%増)となりました。これは主に、立ち寿司事業の譲受による店舗設備の増加によるものです。

#### (負債・純資産)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ5億37百万円増加し、35億26百万円(前事業年度末比18.0%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ5億42百万円増加し、29億10百万円(同22.9%増)となりました。主な内訳は、買掛金の増加3億64百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ4百万円減少し、6億15百万円(同0.8%減)となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ4億30百万円増加し、57億81百万円(同8.0%増)となりました。主な内訳は、当第3四半期累計期間の四半期純利益5億8百万円及び第37期期末配当金の支払78百万円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高189億76百万円、営業利益10億70百万円、経常利益11億3百万円、当期純利益5億84百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き寿司業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店を推進してまいります。第38期(平成26年5月16日から平成27年5月15日まで)の新規出店数は、5店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成27年2月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,996,947	5,682,317
売掛金	35,830	77,282
原材料及び貯蔵品	121,911	136,084
その他	284,339	380,724
流動資産合計	5,439,027	6,276,409
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	993,404	1,069,166
その他(純額)	448,016	400,479
有形固定資産合計	1,441,420	1,469,646
無形固定資産	44,893	154,056
投資その他の資産		
その他	1,415,716	1,408,639
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,414,638	1,407,560
固定資産合計	2,900,952	3,031,263
資産合計	8,339,980	9,307,672
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	831,843	1,196,807
短期借入金	132,000	315,000
未払金	857,932	921,354
未払法人税等	307,685	136,949
賞与引当金	103,000	180,900
株主優待引当金	31,048	26,319
その他	105,112	133,568
流動負債合計	2,368,622	2,910,899
固定負債		
資産除去債務	177,129	191,889
その他	443,079	423,544
固定負債合計	620,209	615,434
負債合計	2,988,832	3,526,333

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成27年2月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	4,799,165	5,229,313
自己株式	△787	△787
株主資本合計	5,351,157	5,781,306
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9	32
評価・換算差額等合計	△9	32
純資産合計	5,351,147	5,781,338
負債純資産合計	8,339,980	9,307,672

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年5月16日 至平成26年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成27年2月15日)
売上高	13,630,190	14,322,957
売上原価	5,642,482	5,916,741
売上総利益	7,987,707	8,406,216
販売費及び一般管理費	7,209,483	7,561,765
営業利益	778,223	844,450
営業外収益		
受取利息	3,525	3,495
協賛金収入	17,523	16,029
その他	7,000	11,641
営業外収益合計	28,048	31,165
営業外費用		
支払利息	3,746	2,815
現金過不足	1,159	1,106
その他	—	112
営業外費用合計	4,906	4,034
経常利益	801,365	871,581
特別損失		
固定資産除却損	1,419	—
減損損失	67,729	—
特別損失合計	69,149	—
税引前四半期純利益	732,216	871,581
法人税等	327,666	363,044
四半期純利益	404,549	508,537

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。